

■米国：ハワイの HECO 社、グリッド近代化の最終案を提出

2017年8月29日付の Hawaiian Electric 社（HECO 社）の発表によると、同社をはじめとするハワイ州の電力会社は、グリッド近代化計画の最終案をハワイ州公益事業委員会へ提出した。ハワイ州は 2045 年までに 100%再生可能エネルギーによって電力供給を行う目標を設定しており、そのため、柔軟性の高いグリッドを構築することを目指している。HECO 社は、今後 6 年間で 2 億 500 万ドルの費用がグリッド近代化のために必要と試算している。これは数カ月前に提出された同社試算案と同額で、2017 年初めに作成された案で示されていた 3 億 4,000 万ドルよりも大幅に低いものとなっている。本近代化計画には、ルーフトップ太陽光発電の普及拡大へ向けたスマートインバーターの普及拡大等が含まれている。